

10月28日に「国連を支える世界こども未来会議 in HAMAMATSU

～浜松市小学生 SDGs アイデアコンテスト最終審査発表会～」を開催しました



10月28日に一般財団法人ピースコミュニケーション財団は、主催の浜松市と共催で今回が2回目となる『国連を支える世界こども未来会議 in HAMAMATSU～浜松市小学生 SDGs アイデアコンテスト最終審査発表会～』を静岡県浜松市内の浜松市役所で開催しました。

今回は浜松市の小学4～6年生16人が参加しました。事前にこどもたちから「住み続けられる未来の浜松市」をテーマとした絵を募集し、事前審査を通過した10組が市役所内の議場で発表会を行い、中野祐介市長ら4人の審査員が審査を行いました。

参加したこどもたちは「平等で安心して過ごせる浜松市」「エネルギーを石油から電気に」「生ごみ肥料＆プラスチック制服じゅんかん法」「ゴミ0のまち未来はままつ」「日本を引っ張っていく浜松市」「ジェンダー総理と国民」「給食革命～浜松っ子が主役！浜松大好き給食♡～」「環境にやさしい発電と生活の街」「ゴミから電気へ」「雑がみリサイクルで広げるフェアトレードシティ」といったテーマでプレゼンを行いました。

斬新なアイデアに審査員からは「2時間聞いていられる。全体をとらえているのが評価に値する」「なぜこのテ

ーマを？」「大発明！4年生でいろいろ考えられているのが素晴らしい」、現実をしっかりと把握したうえでの提案に「的を得ている内容」「誰もが参画できる」など、感嘆の声もありました。

一方、子どもたちからは「私たちはSDGsについて学校で学んでいるが、大人はどこまで理解している？」「市長さん、（こんな取り組みを）やってみてはどうですか？」といった厳しい意見が大人たちに向けられる場面もありました。

全10組の発表終了後、審査の間には西野さんは自らがやっている「里山 ZERO BASE」の活動をベースとしたSDGsに関する講演を行いました。

審査の結果は、「雑がみリサイクルで広げるフェアトレードシティ」のAグループが最優秀賞に、Hグループの「生ごみ肥料&プラスチック制服じゅんかん法」が優秀賞に選ばれました。ともに来年3月24日に東京都庁で行われる「第4回国連を支える世界子ども未来会議」へ参加していただく予定です。また、最優秀賞のアイデアは模型にしてSMALL WORLDS内にある特別エリア「SDGsピースコミュニケーションシティ」に飾られます。

◆国連を支える世界子ども未来会議 in HAMAMATSU 開催概要

【イベントタイトル】国連を支える世界子ども未来会議 in HAMAMATSU～浜松市小学生SDGsアイデアコンテスト最終審査発表会～

【開催日時】2023年10月28日（土）

【開催場所】浜松市議場

【審査員】一木広治（一般財団法人ピースコミュニケーション財団代表理事）／中野祐介（浜松市長）／詩歩（「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」プロデューサー、浜松市やらまいか大使）／西野文貴（里山ZEROBASE代表）※敬称略

【主催】浜松市

【共催】一般財団法人ピースコミュニケーション財団

【協力】早稲田大学グローバル科学知融合研究所、
大阪大学大学院国際公共政策研究科 ESG インテグレーション研究教育センター、

【後援】内閣府子ども家庭庁、外務省、内閣官房国際博覧会推進本部